



協働活動推進課  
(まつり・イベント)  
安部 涼平

阿智村の皆様はじめまして。

令和8年4月1日より「まつり・イベント」部門で地域おこし協力隊として着任致しました、安部涼平（あべりょうへい）と申します。出身は大府堺市で現在までの約30年間の殆どを大阪で過ごしてきました。

普段は役場内、協働活動推進課に席を置いております。ご来庁される際は些細な事でもお声がけ頂けると大変嬉しいです。

これから主に携わらせていただくのは「阿智の夏まつり」ですが、ゆくゆくは阿智村全体各部落のまつりやイベントごとなど参加できればと思っております。今年の9月30日で村制70周年を迎えることもあり、せっかくなので着任させていただいた

上、夏まつりでは既存の伝統を継承しつつ、何か新しいことも進めていければと思います。まだ右も左も分からない新米ですが、まずは夏まつりの成功を目指して日々研鑽して参ります。

私は協力隊として着任する前は塾講師として5年（アルバイトを含めると8年）、家賃の保証会社で督促を3年しておりました。保証会社退職後、半年ほど永年過ごせる移住先を探して旅をし、阿智村に出会いました。人生という長い船旅の中、転職などの転機で思い切った舵を切ってきた私ですが、この風光明媚で温かい阿智村で未永く航行を続けていきたい所存です。

最後になりましたが、まつりは村民の皆様のご協力があつて初めて成立するものだと思っております。まつり運営に携わる方は勿論、例年楽しみにして参加頂いている方にも感謝しながら皆様楽しんでもらえるよう円滑な運営を目指し、「謙虚」と「感謝」を心に抱きながら日々邁進して参ります。改めましてよろしくお願ひ致します。



協働活動推進課  
(全村博物館構想)  
大岩 音寧

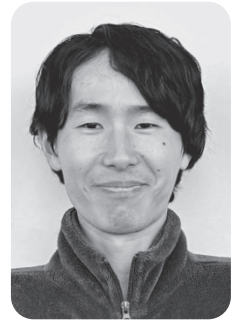
皆様初めまして、大岩音寧（おおいわね）と申します。4月より協働活動推進課・全村博物館協会で活動させていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。

出身は長野県東筑摩郡山形村です。これまで長野県に住んできましたが、観光等で南信州を訪れたことはほぼありませんでした。しかしながら、大学時代の講義で南信州の民俗芸能に触れ興味を抱いたことで、大学院に進学し「南信州における祭礼・民俗芸能の継承」について社会的かつ組織学的視点で研究を行うて参りました。その中で縁があり、昨年は下清内路の奉納煙火の製作や打ち上げに関わらせていただきました。阿智村の自然や伝統的かつ日常的な文化に興味関心を抱いた次第です。博物館の名のもと、村内を屋根の無い博物館と謳つ本協会にて、歴史・文化の調査・発信ができること、心より楽しみにしております。

現在は、全村博物館協会の様々な活動に取り組んでいます。本協会の活動は幅広いですが、具体的に何をしているのか一つずつ学ばせていただいている状況です。本新聞執筆までには、イベントの準備・運営を行なって参りました。先日は熊谷元一写真画館の誘客と昼神の活性化のために、花桃の季節に合わせて五平餅を昼神で販売しました。大勢の観光客で行列ができる様子を、改めて阿智村が一大観光地であることを窺わせます。

協力隊の任期は最大3年間で、自分どこまで成果を挙げられるか未知数です。まずは一つずつ仕事や農村コミュニティでの暮らしについて一つずつ学んでいき、可能性を考察していきたく存じます。昨年度まで学生をしていたので、社会人一年目でありながらの任務です。至らぬ点あるかと思いますが、これからどうぞよろしくお願ひ申し上げます。





阿智村産業振興公社  
小川 覚史

阿智村の皆様、初めまして。今年の3月から地域おこし協力隊に就任した、小川覚史（おがわさとし）と申します。出身地は愛知県新城市です。

現在は浪合に住んでおり、阿智村産業振興公社にて、新規就農を目指し農業研修をさせていただいています。親がトマト農家だったこともあり、将来的には夫婦でトマト栽培を中心に生計を立てていきたいと思っています。

移住先として様々な市町村を検討してきた中で、阿智村では昨年の夏に1か月半ほど、産業振興公社やトマト農場で働かせていただきました。その際、出会う人出会う人皆親身に接してくださいました。何より公社の方々が本当に阿智村の生産者に寄り添っている姿を見て、ここなら安心して農業を始められると感じました。

農業以外にも、猟、釣り、野草採取、

きのこ狩り、それらの加工や料理とやりたいことが山ほどあり、どこから手を付けていこうかと考えているところです。現に今は山菜の処理に追われています。周りの方々からいただき、自分でも採り、余っていたとしても、あの独特の風味に魅了されたついつい買い足してしまう。穏やかな春を迎えられると思いきや、なんだか四季に追われているような感覚です。

まずは、地域行事や交流の場に参加するにあたり、多くの人と関わり合いを持ち、交流を深め、できるだけ早く阿智村に馴染んでいきたいと思っています。

その中で、風土や自然、文化を肌で感じ、阿智村をさらに好きになっていきたいので、また何か皆様と交流できるきっかけがありましたら、なんでもお声がけいただけたら幸いです。農業でも、知識、技術等、スムーズに就農できるように、着実に準備を進めていきたいと思っております。

ということ、今後ともよろしくお願いたします。



阿智村産業振興公社  
山本 真央

初めまして。4月から地域おこし協力隊として農業分野で活動いたします山本真央と申します。

私は東南アジアの常夏の国マレーシアで生まれ、幼少期を海外で過ごした経験があります。その後は神奈川県で過ごしてきました。前は職は農協職員として働いていました。仕事を通じて「農業」や「農家さん」と出会ったこと、大学在学中に外務省の対日促進交流プログラム JENESYS への参加、その際にどう農家さんとの出会いがきっかけとなり「いつか自分で作った農作物で多くの人を笑顔にしたい」という小さな目標を持つようになりました。

阿智村は関東圏では花桃の時期や、星空を見ようと旅行会社がつアーを組むほど人気のある観光スポットです。私自身は、地域おこし協力隊として機会を頂く前は長野県にはよく遊びに来ていましたが、な

かなか阿智村まで訪れたことはありませんでした。阿智村に住み始めて約1か月。お天気の良い日には、満天の星を眺めることができること、村内のあちこちに咲く花桃をみて春を感じています。

また少し先にはなりますが、冬には市田柿を味わうことが私にとっての楽しみのひとつです。□の中に「ふわっ」と広がる甘さ。市田柿は中国をはじめアジアにも需要があるようで、海外で暮らしたことのある私にとっては今後国境を越えて多くの人に愛され食される干し柿になってもraitたい、と考えています。

現時点では、知識や経験もなげ口の状態から公社で日々学んでいきます。野菜や市田柿、ワイン造りに特に興味がありますが、様々なことに挑戦したいと考えています。

私自身、阿智村のことはまだまだ分からないことばかりではありますが、日々の出会いや交流を通じて、早く阿智村の一員となり、農業で村に貢献できるよう努力していきます。よろしくお願いたします。



建設農林課  
小田 智

阿智村の皆様、こんにちは。

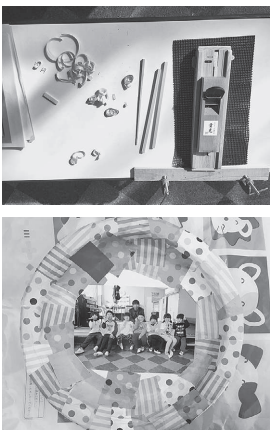
今回は、活動テーマの一つである「木を活かした体験の企画運営」について、浪合保育園で実施した「木育」について、お知らせいたします。浪合保育園での木育活動は、今回で2回目です。前回は、「山椒の香り」をテーマにした木育プログラムを実施しましたので、今回はものづくりを行う「ウッドチェンジ」をテーマに木育プログラムを作成しました。

「ウッドチェンジ」は、身の回りのものを木に変える、暮らしに国産（県産）の木材を取り入れるなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動・活動のことです。そこで木育プログラムは、次の点を重視した製作を企画いたしました。

- ① 浪合産のヒノキを使用する。
- ② 樹木から素材が生まれ、ものづくりに活用できることを体験する。

③ 手を動かす、道具を使う体験をする。

ただ、角材から小刀などの刃物を使用して園児たちに作業をしてもらうことは安全面で問題があるため、写真の治具を利用して箸作りを行うことにしました。治具に角材をセツトして鉋で四面を削っていくことで、誰でも正確に箸を作れるというすぐれものなのですが、試作してみたらこる鉋がけは難しく、加減を間違えて箸を細く削りすぎたり、木地が逆目の場合は、刃がひっかかりうまく削れずに苦労しました。園児たちがうまく鉋がけ出来るか心配だったのですが、杞憂だったようで、みんな上手に鉋を扱うことができ、箸作りを楽しんでもらえたようでしたので木育の目的は達成できたと考えております。



最後に、浪合産のヒノキの木地をご提供いただいた工房菜やの水上様に感謝申し上げます。



阿智村産業振興公社  
松浦 未洋

桜、花桃などの華やかな色合いから、新緑が日ごと深みを増していく季節となりました。地域おこし協力隊として2年目に突入しました。阿智村の皆様、本年度も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今の活動の内容につきましてはリンゴや梨の勉強をさせていただいています。

花が咲くまでは芽の整理、花が咲く時期には、花付け用の花粉を採るための花摘み、そこから花粉を採る工程、花付け作業など学ばせていただいております。

同時に夏の野菜の栽培に向けて、圃場の準備も進めていかなければなりません。今後果樹とともに取り組む野菜の品目を検討しつつ、この時期の作業手順の習得に心がけていきたいと思っております。

☆家から職場まで、標高差があるので、道中は桜や花桃、つつじなど花の移り変わりが楽しめて、毎日の

通勤がとても楽しいです。

新緑の緑も好きで、灰色だった山のカラマツがだんだん緑色になっていく毎日の変化を見るのも好きです。村では至る所でいろいろな花が見られてとてもきれいな村だとも感じます。

しかし昨年、この時期に日当たりのいいところで背の高い黄色い花が多く見かけました。

きれいな黄色の花で靴べら上の葉が特徴的な特定外来生物に指定されているオオキンケイギク。

以前の職場で環境政策の部署にいたこともあり、このオオキンケイギクの駆除啓発などを行ったこともありますが、ことから目についてしまいました。

繁殖力が旺盛で、在来の可憐な植物の生息環境を奪ってしまう植物なので、お家の敷地などで見かけましたら、駆除と広げないように適切に処分しましょう。

